



■本体	
システム構成	4 way 5 drivers system
ウーファー・エンクロージャー	バスレフ、ポートはフロント・リア調整可能、X- material + V- material
ミッドレンジ・エンクロージャー(下側)	リアベント、X- material + S- material
ミッドレンジ・エンクロージャー(上側)	リアベント、X- material + S- material
ツイーター・エンクロージャー	密閉型、X- material
ウーファー・ドライバー	1 x 10.5 inch (27cm) + 1 x 12.5 inch (32 cm) セルロースパルプコーン
ミッドレンジ・ドライバー (上側)	1 x 5.75 inch (15 cm) コートパルプコーン
ミッドレンジ・ドライバー (下側)	1 x 7 inch (18 cm) コンポジットパルプコーン
ツイーター・ドライバー	1 x 1 inch (2.5 cm) シルクソフトドーム
能率	92 dB@ 1 W @ 1 m @ 1 kHz
定格インピーダンス	4Ω (最低インピーダンス 2.0Ω@ 250 Hz)
許容最小アンプ出力	50 W / channel
周波数帯域	20 Hz - 32 kHz @+/- 3 dB Room Average Response
製品寸法	161 (h) x 40 (w) x 68(d) cm
製品質量	227 kg / pc

Obsidian Black, Ivory, Diamond Black, Crimson Satin, Fly Yellow, Estoril Blue, Nara Bronze, Pur Sang Rouge, Cobalt Blue Satin Chalk Classic Orange, Oak Green

Galaxy Gray , GT Silver, Quartz, Carbon

Stella Inc.

株式会社ステラ

〒173-0026 東京都板橋区中丸町51-10
Tel:03-3958-9333 Fax:03-3958-9322 Mail:e-info@stella-inc.com
http://www.stella-inc.com
2022.11 SWIC002A

ALEXX







新生ウイルソン・オーディオの設計者ダリル・ウイルソン が伝統の大型モニターを再定義

ウイルソン・オーディオの第一号機「WAMM」以来綿々と続く製品哲学を受け継いだ大型システム「ALEXX」シリーズが新たな設計者ダリル・ウイルソンの手により大きく進化いたしました。

自身の手によるフラッグシップモデル CHRONOSONIC XVX で培った様々なアイデアを取り入れることにより、さらにリアルなサウンドステージを実現。大型システムならではのスケールと微小信号の精細さをさらに高い次元で両立させました。

進化のポイントは大きく2つです。1つはエンクロージャーの振動をさらに今まで以上に無くすこと。もう1つはドライバーユニットのダイナミックレンジをさらに広げることです。これらの進化により、何も余分なものを付加しない、何も取り去らない、劇的なまでのサウンドのリアリティを得ています。

驚異的な制振性を誇る新素材 V - material と オープンガントリー構造のアッパーウイング

エンクロージャーを構成する主な素材は、進化した最新バージョンの X - material です。この素材はそれだけでも優れた振動減衰特性を持ちますが、これに加えて驚異的な制振性を持つ新開発の V - material を振動インシュレーターとして振動の要所に使用。 X - material の静寂なエンクロージャーが V - material の力を借りてさらなる静寂性を得ました。アッパードライバーを保持するアッパーウイングは、CHRONOSONIC XVX と同様のオープンガントリー構造として強度と制振性能を向上させています。



MTMジオメトリー



新たに開発されたスパイクシステム 「アコースティック・ダイオード」を初めて標準搭載

驚異的な振動減衰特性を持つ新たな素材 V - material と切削ソリッドステンレスによるスパイクシステムにより、エンクロージャーから床面に向かって放出される振動エネルギーは十分に減衰した上で床面から素早く放散いたします。また床面の振動がエンクロージャーにフィードバックすることもシャットアウトいたします。

新開発 ツイーター Convergent Synergy Carbon (CSC)

従来の Convergent Synergy MK5 ツイーターを基にさらなるダイナミックレンジを得るために研究開発を重ね、革新的なカーボンファイバー製リアチャンバーを装備した CSC ツイータードライバーを完成させ、それを初めて搭載。ツイーターのダイナミックレンジが飛躍的に向上したことによる、まさにリアルな空気感が ALEXX V のアドバンテージです。



ウイルソン・オーディオの大型システム伝統 のMTM ジオメトリー

ウイルソン・オーディオの大型システムでは、伝統的にツイーターの上下にミッドレンジを配置するドライバー構成を採用しており、これを MTM (ミッド・ツイーター・ミッド)ジオメトリーと称しています。 ALEXX V では、初代 ALEXX で採用した新世代 MTM ジオメトリーを引継ぎ、さらにサウンドを司る主要部品を進化させています。

上部のミッドレンジには、初代 ALEXX をはじめ、Tune Tot, Sabrina X でも採用されている定番の 5.75 inch ドライバーを採用。より重要なパートを受け持つ下部のミッドレンジには、CHRONOSONIC XVX で新たに採用された、アルニコマグネットによる 7 inch ドライバーを採用しています。2 つのミッドレンジを収める独立したエンクロージャーの内部は、背圧を拡散させるためのディフューザー構造を直接エンクロージャー材に加工することにより、背圧の減衰スピードを飛躍的に高めています。



ミッドレンジエンクロージャー内部のディフューザー構造

10.5 inch + 12 inch ダブルウーファーシステム

2つのウーファーは、フラッグシップモデル CHRONOSONIC XVX と同じ 10.5 inch ドライバーと 12inch ドライバーを採用。最適化 するエンクロージャーを最適化した結果、内部容積は初代 ALEXX と比べて16%増加しています。

2つのウーファーの振動板はあえてセルロースパルプコーンを採用。十分な内容積のエンクロージャーと軽量な振動系を持つウーファーにより、フワッと軽いけれども十分に深いハイスピードなベースサウンドが魅力の1つです。



アコースティック・ダイオード



Convergent Synergy Carbon (CSC)